

1. 件名：東海再処理施設安全監視チーム会合への対応に係る面談
2. 日時：令和元年12月6日(金)15時30分～17時00分
3. 場所：原子力規制庁9階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野企画調査官、田中安全審査官、有吉主任技術研究調査官、小舞管理官補佐、  
堀内安全審査官、内海研開炉係長

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

再処理廃止措置技術開発センター 技術部 部長 他3名

#### 5. 要旨

○原子力機構から、令和元年11月28日の第35回東海再処理施設安全監視チーム会合における監視チームからの指摘について、指摘事項の確認等があった。

○原子力規制庁より、以下の内容を伝えた。

・監視チームからの指摘に関して、指摘の趣旨を再度伝えるとともに、次回会合に向けて適切に対応するよう、再度要請した。

(参考) 会合における主な指摘

- ・ガラス固化作業再開に向けたスケジュールについては、技術的、時間的に見積りが甘い点がある。本スケジュールについては、高放射性廃液処理に関する早期のリスク低減に向け、前倒しを含めた最適化を担当理事の主導で行うこと。
- ・廃止措置計画の変更申請については、廃止措置全体を踏まえた申請の優先順位を付けた上で、適切な工程管理を行い、早期の対応を行うこと。
- ・特に、安全対策に係る変更認可申請については、12月には提出するとしているが、対応として非常に遅いと考えている。高放射性廃液が冷却と掃気のシステムが停止すると蒸発乾固などの大きな事故につながるにも関わらず、当該変更内容は、事故の選定のみであるため、その有効性を示した内容を含めて変更申請を行うこと。
- ・以上の点について、次回12月25日の会合において説明すること。

○原子力機構より、承知した旨返答があった。

#### 6. 配付資料

資料1：第35回東海再処理施設安全監視チーム会合資料

[https://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/yuushikisya/tokai\\_kanshi/170000007.html](https://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/yuushikisya/tokai_kanshi/170000007.html)

資料2：第35回東海再処理施設安全監視チーム コメント整理表